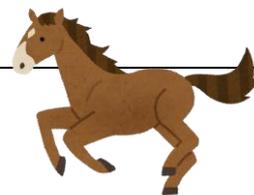


今年もよろしくお願ひします



始業式 校長式辞より

皆さん、明けましておめでとうございます。

2026年。令和8年が始まりました。

さて、今年は何年かわかりますか？そうです。うまどしです。漢字で書くと、こんな字を書きます。「午年」

でも、今年はただの午年ではありません。60年に一度しかやってこない、「丙午（ひのえうま）」というとても珍しい年です。「丙（ひのえ）」という言葉には、「太陽」や「燃え上がる火」という意味があります。つまり今年、「太陽のように明るく、火のように熱いエネルギーを持った馬」の年なのです。皆さんが次にこの「丙午」に出会うのは、なんと60年後。皆さんがおじいちゃんやおばあちゃんになった時です。そんな一生に一度の「スペシャルな1年」が始まります。

そこで、この3学期に皆さんに頑張ってもらいたいことを2つお話しします。

1つ目は、「心にやる気の火をつけること」です。

3学期は、今の学年のまとめの時期です。勉強や運動、あるいは係や委員会の仕事。「ちょっと難しいな」「寒いから面倒だな」と思うことがあっても、自分の中の「太陽の馬」を思い出してください。「よし、やってみよう！」と自分から心に火をつけて、情熱を持って取り組んでみてください。

2つ目は、「周りの人を温める太陽になること」です。

自分だけが良ければいいのではなく、太陽がみんなを照らすように、お友達に優しくしたり、温かい言葉をかけたりしてください。皆さんの「太陽のような笑顔」で、クラスをぼかぼかに温めてほしいと思います。

3学期は、48日しかありません。馬が駆け抜けるように、あっという間に過ぎていきます。この「丙午」のパワーを借りて、心に熱い火を灯し、明るく元気に進んでいきましょう。

心にやる気の火をつける



よし、やってみよう！
チャレンジ！

まわりの人を温める太陽になる



雪を楽しむ ～スキー教室・雪上教室～

1月16日（金）に、3・4年生が猿倉スキー場で1回目のスキー教室を行いました。雨が心配されましたが、まずまずのコンディションのもと、実施できました。初めて、スキーをする児童も多数いましたが、インストラクターの先生方から丁寧に教えていただき、みんな上達したようです。2回目は、1月30日に蔵王スキー場で行う予定です。

また、1・2年生は、22日（木）に山形市少年自然の家で雪上教室を行いました。雪遊びや、そり滑り、チューブ滑りと思う存分、楽しんでできました。当日は、15名の保護者の皆様から見守り、お手伝いいただき本当にありがとうございました。

1年の中で一番寒い時期、雪の降る山形だからこそ、「雪を楽しむ行事」「雪に親しむ行事」が、教育活動に組み込まれています。山形市には蔵王という世界的にも有名なスキー場があります。最近は、スキーのインバウンドも大きく増加し、海外の方々にも蔵王の魅力が認識されています。このように恵まれた山形に住む子どもたちには、生涯にわたってスキーやスノーレジャーを楽しんでもらいたいと願っています。山形市は、スキー教室に参加した児童全員に、1人1,000円の補助を行っております。保護者の皆様には、用具の準備等で多大なご負担をおかけしておりますが、子どもたちの豊かな経験のため、今後ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



3・4年 スキー教室 猿倉スキー場



1・2年 雪上教室 山形市少年自然の家

雪道の登下校安全に

1/9（金）、一斉下校を行い、冬道の安全な歩き方について確認しました。今年の冬は、街中は雪が少ないですが逆に路面が凍って危ない時があります。また、寒波もたびたびやってきて雪道にもなります。雪国の子どもで慣れているとはいえ、ちょっと油断すると滑って転んでしまう危険があります。毎朝、立哨していて気になるのは、手袋をしないでポケットに手を入れて歩いている児童がいることです。転んだ時に手をつけずに大けがにつながってしまいます。手袋をしっかりして滑りづらい冬用の靴を履いて登校できればと思います。また、雪が多くなると地面ばかりでなく屋根からの落雪の危険も出てきます。さらに、車もスリップして急に止まれなくなります。学校でも、冬道の安全について指導しますが、ご家庭でも話題にさせていただき、安全な登下校ができるようご協力お願いいたします。

